

第22回APCTP日本委員会会合議事録

日時：2024年1月23日（火）14:00～

会場：<https://zoom.us/j/92145681142>（Web会議）

出席者（順不同、敬称略）：

河本昇（北海道大学、委員長）、保坂淳（阪大RCNP）、横山順一（東大ビッグバン宇宙国際研究センター）、杉本茂樹（京大理）、大向一行（東北大学）、宇田川将文（学習院大）、原田正康（名大）、磯暁（KEK）、青木慎也（京大基研）、原田知広（立教大学）、押川 正毅（東大物性研）、藤川和男（理研）、多田司（理研、事務局）

オブザーバー（順不同、敬称略）：丹生久美子（KEK、APCTP監事）

欠席者（順不同、敬称略）：菅原寛孝（KEK）、九後汰一郎（京都産業大学）、村上修一（東工大）、木村真明（理研仁科センター）、柳瀬陽一（京大理）、萩野浩一（京大理）

会合冒頭で出席者の自己紹介が行われたあと昨年逝去された大西明委員への追悼の辞が河本委員長より述べられた。

1. 前回議事録承認

前回会合である第21回議事録が、2023年9月15日のメール審議と合わせて確認され、承認された。

2. APCTP理事会報告

第41回および第42回理事会の報告がAPCTP理事会の議長である河本委員長より行われた。第41回理事会では、APCTPの予算が22%カットされる状況に鑑み、将来計画委員会報告で、理事会にPOSTECの代表、県代表、市代表を入れ、韓国外からの理事を減らし、国際協力はGeneral Councilを活用すること、などの方針が提案され、これに対して韓国外の理事から異論が出された、また所長給料が未払いになる可能性の問題で議論が紛糾されたことなどが紹介された。このような理事会での議論の背景について河本委員長から説明があり、日本の研究コミュニティがどのように対応するべきか、の議論を本会合で行いたいとの意向が示された。

第42回理事会は、予算カットが22%から11%に変更された事に伴い、予算承認の為の臨時の理事会であり、所長の報酬及び2024年度のプログラムと予算が承認されたことなどが紹介された。

3. メンバーシップフィーについて

メンバーシップフィーについて2023年度分のAPCTPへの送金がKEKより行われ、KEKあての分担金の支払いが完了したこと、2024年度の分の請求書がKEKに到着しており、4

月以降にAPCTPへの送金、分担金の各研究機関へ請求を行う予定であることが事務局より報告された。

4. 来年度の委員について

故大西委員の残り任期を務める委員として、萩野 浩一氏（京大理）が原子核サブグループより推薦されたこと、また任期満了を迎える委員の後任の次期委員について、理論天文学宇宙物理学懇談会より山本 一博氏（九州大学）の推薦の推薦があったこと、物性グループより村上修一委員（東工大）、原子核サブグループより萩野 浩一委員（京大理）、素粒子論サブグループより多田 司委員（理研iTHEMS）の再任の連絡があったことが事務局より報告された。

5. 監事の推薦について

2024年3月15日までの任期となっているAPCTPの監事について、引き続きKEKの丹生久美子氏を推薦することが決議された。

6. その他

APCTPへの日本のコミュニティとしてどのように対応するかに関して時間をとって懇談が行われ、率直な意見交換が行われた。

以上